



しよれと Palette

2
2021 February
vol.246



特集「JA岡山の未来に種をまく(前編)」

農を担う
梨農家 高原 康司 さん
八浜町大崎地区……… 10ページ

今月の折り込み ・令和3年産 大豆類種子予約注文書
・令和3年産 いもづる予約注文書 他

「JA岡山の未来に種をまく(前編)」

JA岡山は令和元年度から令和3年度まで「営農振興計画」と「地域くらし活性化計画」に取り組んでいます。その取り組みから得た成果と見えてきた課題、新型コロナウイルス感染症拡大による自粛傾向により停滞する経済活動やW・T・H・C・Rへの対策、JA自己改革への取り組みについてJA岡山の役員と女性部部长、青壮年部部长が対談形式で意見交換を行いました。今号と来月号ではその様子をお届けします。

対談参加者

営農振興計画 会長	宮武 博
常務理事(営農経済担当)	山本 到
女性部 部長	河内 恵子
青壮年部 部長	秋山 佳範

進行役 広報担当

※本文中敬称略・役職等は対談時のもの



営農振興委員会 会長 宮武 博

昭和21年生まれ。モットーは「やってもできないものはない」。平成28年6月から現職に就任。

●対談(11月30日、JA岡山本所ビルにて)

宮武会長(以下、宮武)

営農振興委員会会長の宮武です。現在、農業を取り巻く状況は非常に厳しく、さらに新型コロナウイルスの影響により経済活動が停滞し、多くの農畜産物が影響を受けています。本日の対談では、農業と地域を支えてくださる女性部・青壮年部の両部長から今後の農業やJAのあり方、改善策などを伺い広報誌を通じて取り組んでいきます。

山本常務(以下、山本)

営農経済担当常務の山本です。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。これからのJA岡山のさらなる飛躍を目指してそれぞれの立場でご意見・ご要望をいただければ大変嬉しく思います。本日はよろしくお願いたします。

河内部長(以下、河内)

平成31年の4月から女性部部长を務めております河内です。令和2年は新型コロナウイルスの影響によりなかなか活動ができず悩んでいるところです。よろしくお願いたします。

秋山部長(以下、秋山)

青壮年部の秋山です。コロナ禍ということで活動がなかなかできていません。令和2年度の青年の主張大会はオンラインで開催したこともあり、今後はオンラインでの環境を作る必要も感じています。どうぞよろしくお願いたします。

広報担当(以下、広報)

まず「営農振興計画」についてお尋ねします。成果と今後のビジョンについて教えてください。

山本 「営農振興計画」は、現在2期目です。第1期が平成28年から30年まで、のべ5年目になります。具体的には「農畜産物の生産振興」、「販売戦略の強化」、「営

農指導体制の充実」など5つの基本方針のもと本所ならびに7営農センターで合同計画を立て進めています。

2期からは基本方針の一部を「農地の流動化と労働支援の推進による農地の有効活用」に変更し取り組んでいます。

農地の流動化については、今年度からGIS(デジタル地理情報システム)を使ったスマート農業などの新しい取り組みを行っております。タブレットやパソコンで農家の基本情報や、ほ場ごとの面積、将来的には農作業情報や収量を記録し、農家ごとに収量の増減が分かるようなシステムを導入実践していきます。そこで基本となるのがデータの蓄積です。合わせては場分析に対応したドローンや2機購入し、水田の上空から生育診断を行える体制づくりに努めています。分析することにより葉緑素が判別でき、ほ場ごとに色分けされて、見える化につなげています。そうすることにより増収と高品質化を目指します。

労働支援では、秋山部長にも協力していただき、スマートフォンアプリ「1日農業バイト」を活用し、労働力を必要とする生産者と、アルバイトしたい一般の方を無料でマッチングするシステムを導入しました。これからの労働力を担ってくれるアプリになることを期待しています。他の4つの柱についても、1年1年新しいことを加えながら取り組んでまいります。

また、平成29年からは農業生産コストの低減や生産拡大に取得される農家を支援する「営農振興支援事業」を行っています。生産面積の拡大や苗木の助成、農業資材の購入等に対する奨励を継続し、多くの生産者の方に好評をいただいています。

令和元年度の実践結果の詳細は「ぱれっと」の7月号に掲載させていただきます。

広報 秋山部長、生産者の立場から「営農振興計画」の講評をお願いたします。

秋山 現在JAで実施している営農振興支援事業は継続して取り組んでほしいです。また新しい技術などさまざまな取り組みがあると思いますが、もっと現場に入



常務理事(営農経済担当) 山本 到

昭和34年生まれ。モットーは「七転八起」。平成30年8月より現職に就任。

ピーデーに情報をいただけたら効率がよくなると感じています。あとは販売面ですね。地元産を適正な値段、価格帯で取引が続けていけるようにしていただきたいです。作ったものは適正な値段で販売してもらえよう環境や状況を作ってほしいと思います。生産者としてはJAからバックアップをしっかりしていただけたらかなり安心して今後もよいお付き合いができるのではないかと思います。少しずついろんな意見が出てくると思っています、一歩ずつお互いがよくなるように変わっていったらよいのではないかなと思います。

山本 スピード感については、本所と営農センターの連絡は密に取るよう努めています。定期のセンター長会議をはじめ、TACリーダー会議を開催し、本所各部署からの情報提供と各地区の組合員の方々からのご要望などの情報交換を行いさらにスピード感を持ったさまざまな対応を目指します。

販売においては、JA自己改革の目標のひとつでもある「農業者の所得増大」が最も重要事項と考えております。近年の傾向では事前の値決め販売で、契約野菜の推進拡大を図っています。青果物は気候の影響を受けるため年によつて価格変動が大きくなつてまいります。そのため、現在、取引市場50社あまりの中で重点市場として集約し、少しでも有利販売ができるよう、市場とのパイプを太くしていく体制づくりを行っています。

河内 取り組みについては今後も着実に行っていたきたいと思います。営農情報の提供や営農指導ができるよう適切な人材を適切に配置し、研修で能力を高め、すぐにも組合員・利用者の困りごとに対応できる人を育ててほしいと思います。

山本 職員の育成について営農センター事務職員を含めて、全員が知識を習得していただきたいと思っています。基本となるのは、

日本の食文化の普及にも取り組んでいただけたらと思います。

青壮年部の方々には農業を核とした、食育活動をしていただいています。また産地の活性化です。地域を盛り上げていただけるような活動をもっとしてほしいと思います。

河内 例年さまざまな行事を行っています。今年も新型コロナウイルスの影響で活動ができない状況にありました。「ちやぐりんフェスタ」は昨年は

1,230人もの方に参加いただきました。今年度は100人ほど。その中でも「おうちでちやぐりん」など、工夫して活動した支部もありました。親子料理教室の開催は困難ですが、このような状況下

営農指導力だと思っております。3年前から組合員さんのところへ出向いて話ができる職員、農家の方のメリツトになる位置づけの職員としてTAC指導員を任命し、若い職員からベテランまで各センターに配置し、7センターで26人の営農指導できる職員の育成に取り組んでいます。

広報 続いて「地域くらし活性化計画」に移ります。区講評と今後のビジョンをお願いします。

山本 今年は残念ながら新型コロナウイルスの影響で活動がほとんど出ていない状況ではありますが、本当に女性部・青壮年部の方々に地域の活性化また地域との交流の場ということできま

でできることを話し合い、お米の消費拡大の一助となればとお米を使った伝統料理のレシピ集の製作を考えています。また、JAの「助け合い組織」と協力し合い、高齢者福祉事業も盛り上げていきたいと思っております。コロナが少しでも早く収まりいろいろな活動ができるようになればと思います。

広報 今回の「営農振興計画」および「地域くらし活性化計画」の中で、JAに対して改善してほしい点がありますか。

河内 やはり広報活動の強化が必要ですね。今年もコロナで行事の中止を余儀なくされ難しかったのですが、今回のレシピ集の件などをPRしていただきたいと思います。また広報誌だけでなくSNSなどを使って活動もPRしていただきたいと思います。若い人はやはり



青壮年部 部長 秋山 佳範
昭和57年生まれ。モットーは「七転八起」。令和2年5月より現職に就任。

まな活動に取り組んでいただき感謝申し上げます。JAの基本理念は相互扶助ですが、地域の方にどのよう浸透しているのかとの声もあります。なかなか職員自体が地域の方と接する場面が少ない。機会があつても生産部会の方々が中心になりますので、女性部や青壮年部の方々のお力添えは大変ありがたいと思います。方針に挙げている「地域の活性化」につきましても、女性部は、くらしの活動が核になると思

新聞や雑誌よりもSNSを見ますからね。

山本 先般始めた「1日農業バイト」についてもインスタグラム内でしか広告していませんが、そこから皆さん応募いただいています。そういう時代なんですね。

河内 女性部と青壮年部の活動の接点がなかなか無いのも改善したいですね。他のJAでは青壮年部とコラボしているところもあります。農業体験も地区だけで行っているところへ女性部も加えていただいて大々的にやっていきたいですね。

宮武 「地域くらし活性化計画」の両輪である女性部と青壮年部が協力し、できる体制を構築しながら地域の活性化につなげていきたいと思



女性部 部長 河内 恵子
昭和33年生まれ。モットーは「雨垂石を穿つ」。平成31年4月より現職に就任。

予告

ばれっと3月号では、「JA岡山の未来に種をまく（後編）」を掲載予定です。



基本に忠実に、 もっとおいしい梨作りを

高原 康司さん

八浜町大崎地区：梨農家

「たかはら こうじ」
昭和60年生まれ。南梨部会部会長。梨を経営。祖母、母、弟の4人家族。趣味は釣り。
座右の銘は「ゆっくりこそ早道」。



梨づくりについて語る高原さん

12月17日、八浜町大崎地区の梨農家の高原康司さんにお話を伺いました。

祖父から 農業を受け継ぐ

―就農したきっかけは

我が家は祖父を中心に昔から梨を栽培しており、子どもころから箱の組み立てなど手伝いをしていました。もともと勤めに出ていたのですが、祖父が高齢となったため、祖父や父に教わりながら5年前に就農しました。

―農業を始めてからは

現在は、ほ場にに応じて品種を選定し二十世紀、新高、あたごの3品種を栽培し、40坪経営しています。

あたご梨は大きさではなく重量で出荷するため、一つずつ量り、箱詰めしています。祖父は、持った感覚で重さが誤差50g程度で分かっていたので、私もそれを目指しています。

―栽培上のこだわりは

授粉と袋掛け作業にこだわっています。花粉がまんべんなく付かないとききれいな形に成長しないため、一つ一つ丁寧に授粉させています。

袋掛け作業では、小さい袋を先に掛けて、後から上に大きい袋を掛けます。小さいうちから日焼けと病害虫を防ぐために二重にしています。労力ばかりかかりますが、よい物をつくるために、かさず行っています。

さらに、日当たりをよくするために木が重ならないよう、誘引やせん定をしています。ほ場にはパイプを田の字状に張り巡らしてお

り、そのパイプに誘引しています。山の上には場があり、傾斜が急な中での作業は大変ですが、手入れは欠かしません。

基本に忠実に、もっと おいしい梨作りを

―今後の抱負は

現在は祖父から教わった栽培方法で生産していますが、一度基本を学びなおしていきたいです。果樹の本や営農指導員から基礎を学び、いずれは自己流のアレンジや栽培方法を見つけていきたいです。消費者の方が「おいしい」とよろこんでくれる梨を目指して、学び続けていきます。

南梨部会は生産者の高齢化のため部会員が少なくなっていますが、昔から地区で親しまれてきたものなので、絶やさないために生産者拡大と後継者探しも頑張っています。

聞き手：JA岡山広報担当



病気を防ぐために木の管理を徹底しています。



一つずつ丁寧に梱包します。

野菜

温度や土壌の管理に気を配りましょう



営農部指導課 宮本 大輔

●ホウレンソウ

栽培は比較的容易ですが、酸性土壌は嫌います。生育適温は15〜20℃で高温期には栽培しにくいですが、低温には強く0℃近くでも生育し、発芽温度は4℃以上が必要です。

●品種選び

春播き栽培はとう立ちしやすいため、とう立ちが遅い品種を選定します。発芽がそろいにくいと敬遠されがちですが、発芽揃いを高める加工をしたものも出回っています。春播きに適した品種としてはオーライ、吉兵衛、晩抽サマースカイなどです。

●畑の準備

播種2週間くらい前に10平方

畝あたり堆肥20^キ、石灰1.5^キを施して深く耕し、播種1週間くらい前に化成肥料(野菜いちばん)1.5^キを施し、充分混ぜておきます。

●播種

畝幅1.0〜1.2^{メートル}、株間20^{センチ}、4条植えとします。15〜20^{センチ}間隔に溝を切り、1〜2^{センチ}間隔で播種をします。覆土は1^{センチ}程度行いたっぷり灌水し、発芽促進と生育をそろえるため、播種後不織布をべた掛けします。

2月の播種はトンネル栽培、3月以降は不織布のべた掛け栽培で行います。生育や温度に注意して、トンネルの換気や不織布の除去を行います。

ホウレンソウは過湿を嫌うので水がよくたまるとなるような畑では畝を高めにして、排水をよくします(資料1)。

●間引き

1回目は本葉が見えたころにとくに混み合っている株を抜きとります。その後本葉4枚ごろに2回目を行い最終的に株間5^{センチ}程度にします(資料2)。

●追肥・中耕

春播きの場合、基肥のみで栽培しますが、生育の状況を見て灌水を兼ねて液肥500倍を散布しま

花き

クレマチスを綺麗に咲かせましょう



営農部指導課 中川 雄一

植物の動きが穏やかな冬、クレマチスの花芽が膨らんでくる2月はせん定の時期です。

●せん定の注意点

この時期には丸く膨らんだ花芽がある節が確認できます。その花芽を残してツルを切りますが、切るのは節と節の間です。花芽が付いた節のすぐ上で切ると枯れ込むことがあります(資料3)。

せん定位置(充実した花芽)を分かりやすくするため、枯れた状態の葉だけを取り除きます。枯れたように見えても茎は生きています。この段階は葉だけです。

作業中に茎が折れてしまったと思っても、切断していなければ生きていますので、切り取らないでください。

●タイプ別のせん定

クレマチスには花のつき方にタイプがあり、それに応じたせん定をします。

(タイプ①)その年新しく伸びたツルに花がつく(新枝咲、新旧両枝咲)

たくさんツルが出ていたら、芽がついていないツルや短いツルは付け根で切ります。ツルの先端の芽は充実していないので、丸く充実した花芽の上のツルを切り取ります。それぞれの芽が春に伸びて開花するので、芽が多すぎるとなら、先端から3分の1くらい切り取って数を調整します。

(タイプ②)前年伸びたツルから枝を伸ばして咲くタイプ(旧枝咲) 各ツルの丸く充実した芽を残して、小さい芽や、芽がついていないツルの先端を切り取ります。充実した芽がついていないツルは付け根で切ります。

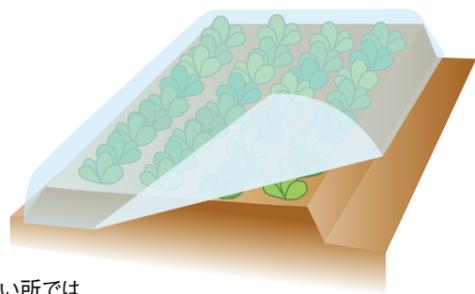
●誘引

四季咲き品種は、最初の開花後にツルの先を3分の1ほど切ると、節から芽が伸びて再び開花し、さらに切り戻すともう一度と開花を繰り返します(資料4)。秋までに繰り返し伸びるので、行灯支柱やネットなどに誘引する場合は、せん定後は中斷くらいまでの高さにします。

一季咲き品種は初夏以降開花したら花がらのみを切り、あとは来年のためのツルが伸びるだけなので、開花期に見栄えがするよう支柱全体に誘引します。

す。除草を兼ねて畝の表面を軽く中耕(通気性をよくする目的で浅く耕す作業)をしましょう。

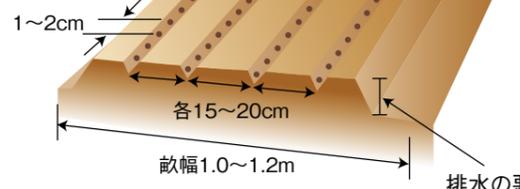
不織布のべた掛け



排水の悪い所では畝を高くします

資料1 播種・畝

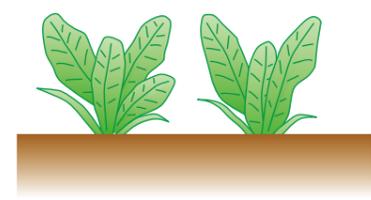
覆土後、板などで軽く鎮圧して、土壌水分が逃げないようにする



資料2 間引き

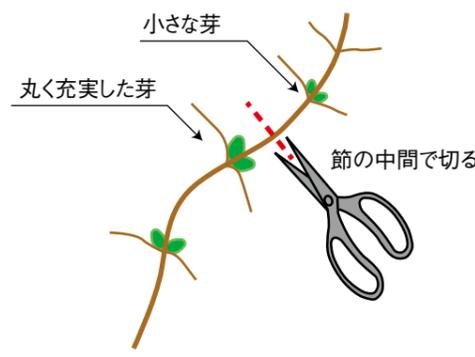


第1回 (本葉が出始めたころ) 混み合っているところを間引く

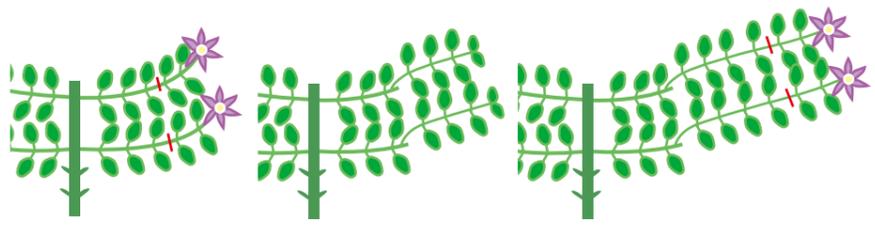


第2回 (本葉4枚ごろ) 株間5cm程度

資料3 せん定時、ツルを切る位置

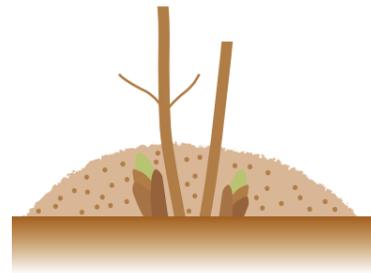


資料4 四季咲き品種の開花と切り戻し



最初の花が咲いた後、茎を切り戻しておくで芽が伸びて、次の花が咲き、また切り戻します

資料5 完熟腐葉土などでマルチング



●施肥ほか

寒肥を施用していない場合は早めにしておく効果的です。株から30^{センチ}程離れたところに2〜3カ所、深さ10^{センチ}程の穴を掘り、有機肥料を分量の違いに応じて60〜100^{グラム}程度入れて土と混ぜ、埋め戻します。ゆっくり効く肥料を土になじませて、春以降の生長に役立てるねらいです。

株元に新芽が顔を出してくることがあります。腐葉土や土などを軽くかけて寒さから守りましょう(資料5)。

●収穫 草丈が23^{センチ}程度を目安に収穫します。播種後40〜50日程度を目安にしますが、春は生育が一向に進むので早めに収穫をしましょう。

果樹



営農部指導課
小野 智寛

適した方法で作業を行いましょう！

2月の主な作業はせん定や挿木、接木の穂木の確保が主な作業になります。

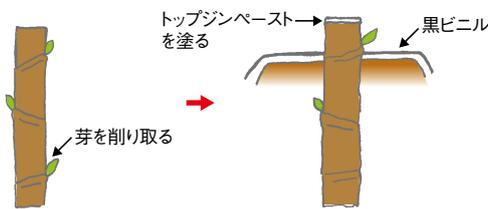
● 苗木の作り方

果実は野菜と異なり、種を播種しても親と同じ形質にならないものがほとんどです。そのため主に栽培面積拡大や品種をかける場合は苗木を購入しますが、挿木や接木でも可能です。接木の時期は資料6に掲載していますので参考にしてください。

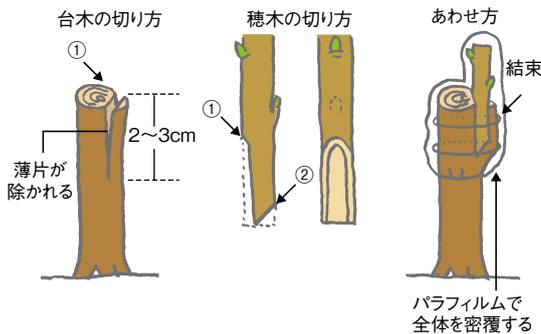
資料6 果樹品目別の接木法と接木適期

品目	接木法	接木時期(月、旬)	台木の種類	穂木採取時期(月)
桃、スモモ 梅	切接	2下～3中	共台	12～2中
	芽接	8下～9上		接木時
ブドウ	緑枝接	6上～7下	抵抗性	接木時
梨	切接	4上	共台	12～2中
	芽接	8中～下		接木時
柿	切接	3下～4中	共台	12～2中
栗	切接	4下	共台	12～2中
カンキツ	切接	4下～5上	共台	3下、春枝部
	芽接	8中～9上	カラタチ	接木時

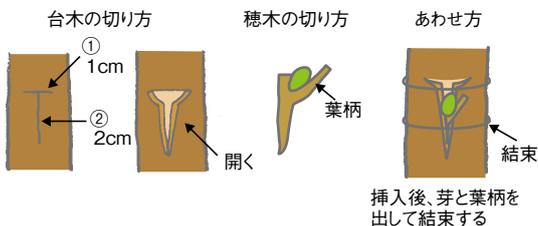
資料7 イチジクの挿木 (ブドウでは2芽を削り取る)



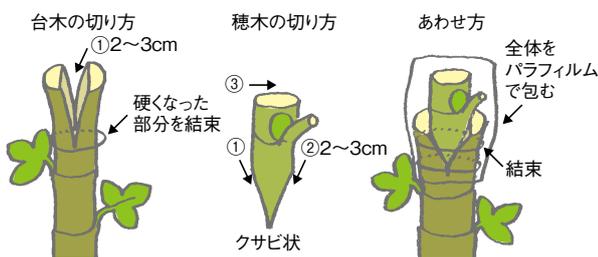
資料8 切接の方法 ①、②切り込み順序



資料9 芽接の方法



資料10 緑枝接の方法



● 挿木法 (ブドウ、イチジクなど)

前年に伸びた充実のよい枝を選び、1～2月に採取し穂木とします。穂木は乾かないようにパラフィン(パラフィルム)などで隙間なく包み冷蔵庫で保存し、3月に15℃程度の長さで切ります。ブドウやイチジクは3芽程度残し、挿し部の芽を軽く削り取って挿し木にします。資料7を参考にしながら行いましょう。この方法は台木がないため樹勢や耐病性が弱いなどの短所がありますが、成功率は高いのでチャレンジしてみてください。

● 接木法

接木法には現在栽培している品種に接ぎ木したり、台木を育成して接木する方法があります。桃のように種のある果樹は、食べ終えた果実から種を取りだして水洗いした後、網袋に入れて乾かさないよう水はけのよい場所に埋めます。

● 芽接法

台木の剥皮が容易な時期に接ぎ木する方法で、桃や梅、かんきつで活着率が高い方法です。穂木は接木時に採取し、葉柄の一部を残して芽を削り取り、台木の形成層にあわせまします。活着すると7日程度で葉柄が脱落します(資料9)。

● 切接法

柿や栗、かんきつ等の接木の適期は、新芽が発芽し1℃程度成長したときが適期です。資料8を参考に保管していた穂木を接ぎましよう。

● 緑枝接法

ブドウの開花期以降から緑枝接の適期になります。新梢の基部付近(硬くなった部分)に接ぎ木品種の新梢(硬くなった部分の枝を採取)を接木する方法で、ブドウで活着率が高い方法です(資料10)。これらの接木法は、穂木を切った後に切り口が乾かないように口にくわえ、台木の形成層と穂木の形成層を素早くあわせまします。その後、台木と穂木を紐で固定し、パラフィルムで全体を覆い、乾燥を防ぎます。穂木から発芽するとパラフィルムの一部が破れます。新梢が伸び誘引した後、接木部が破れないように結束紐をはずします。



パプリカの スパイシースープ

作り方

- (1) Aの材料を一口大に切り、Bと一緒に鍋に入れ、あくが出たら取りながら野菜が煮えるまで中火で煮る。
- (2) 弱火に落とし、Cを入れ10分ほど煮込む。
- (3) 器にスープを盛り付け、Dを散らして出来上がり。

レシピ提供 / 永井智一(ながいとまかず)
茨城県笠間市にある「天晴(旧キッチン晴人)」オーナーシェフ



材料 (4人分)

A	パプリカ	3個
	レンコン	200g
	タマネギ	中2個
	ジャガイモ	小4個
	ナス(皮をむく)	3本
	豚バラスライス	200g
	水	2400ml
B	タカノツメ	4本
	サラダ油	大さじ3
	塩	大さじ1と1/2
	和風だし(粉末)	5g
C	カットマト	1缶(400g)
	カレー粉	大さじ2
D	ミックスビーンズ	1缶(110g)
	パセリ(みじん切り)	適宜

Aslogram

あぐろ
グラム

編集後記

輝く花と星の イルミネーション

岡山市東区西大寺南の西大寺緑花公園で、園内を華やかな光で彩る「ガーデンイルミネーション IN西大寺」が開かれています。今年は11回目で過去最多となる4万個のLEDが飾られ、来場者の目を楽しませます。

今年のテーマは「光るお花とお星さま」。一带は、花と星をモチーフにした照明で演出されており、星形の明かりが飾られています。「星屑の丘」と題したエリアは、足元に金色のLEDが敷き詰められ夜空の星のように輝きを放ち、青や黄色のバラをかたどった照明約400個が並ぶ花壇もあります。

開催期間は2月28日まで、点灯時間は16時～22時です。



編集担当 住吉 沙弥香